

## 第 7 6 回国民体育大会 競技用具整備要項

### 1 趣旨

この要項は、「第 7 6 回国民体育大会 競技用具整備基本方針」（以下「基本方針」という。）に基づき、第 7 6 回国民体育大会（以下「大会」という。）の競技運営に万全を期するとともに、大会を契機としてスポーツの普及・推進に資することを目的とし、大会開催に必要な競技用具の整備について必要な事項を定める。

### 2 競技用具の区分

(1) この要項でいう競技用具とは、次表のとおりとする。

	区 分		内 容	例 示
競 技 用 具	競技用	備 品	競技を実施するために直接必要な備品 (施設及び施設に付帯するものは除く)	ゴールポスト、 卓球台、得点板 等
		消耗品	競技を実施するために直接必要な消耗品	ボール、ホイッ スル、石灰等
	運営用	備 品	競技を実施するために直接必要な備品以 外のもので、競技会運営に必要な備品 (施設及び施設に付帯するものは除く)	テント、表彰 台、放送器具等
		消耗品	競技を実施するために直接必要な消耗品 以外のもので、競技会運営に必要な消耗 品	事務用品、清掃 用具等

(2) この要項で備品とは、比較的長期にわたって、その性質又は形状を変更することなく使用に耐えるもので、取得価格が 50,000 円以上の物品をいう。

(3) この要項で消耗品とは、備品以外の物品をいう。

### 3 競技用具整備計画の作成

(1) 競技用具整備計画は、会場地市町が県競技団体及び県と協議のうえ作成する。

- (2) 競技用具の規格及び数量については、県、会場地市町が県競技団体と協議のうえ、公益財団法人日本体育協会及び中央競技団体と調整し決定する。
- (3) 競技用具の整備にあたっては、大会時に使用可能な現有の競技用具を活用し、不足する場合には借用する。特に、大会終了後の利活用が困難なものはできる限り借用する。

また、現有活用及び借用により整備してもなお不足する競技用具については購入する。
- (4) 競技用具の整備時期は、競技別リハーサル大会の実施などを勘案し調整する。

#### 4 業務分担及び経費負担

- (1) 競技用具の借用は会場地市町が行うものとし、経費を負担する。なお、必要がある場合には、県が会場地市町の依頼により斡旋に努める。
- (2) 競技用具の購入にかかる県と会場地市町の業務分担及び経費負担区分は別表1による。
- (3) 基本方針に定める「特に配慮が必要な競技用具」とは、主として一般の利活用が見込めない競技用具や通常の競技会運営に必要な競技用具の量、質を超えて整備しなければならないものをいい、その整備については必要に応じて県と会場地市町で別途協議する。

#### 5 競技用具の転用及び処分

購入した競技用具の転用及び処分については、大会終了後、購入した者の責任において行うものとする。

#### 6 その他

この要項に定めるもののほか、競技用具整備に必要な事項は、県と会場地市町が別途協議するものとする。

【別表 1】 競技用具の購入にかかる県と会場地市町の業務分担及び経費負担

業務分担及び 経費負担区分 競技会場及び 練習会場の施設区分	県	会場地市町
県有施設	競技用備品	競技用消耗品 運営用備品及び消耗品
市町有施設	—	競技用備品及び消耗品 運営用備品及び消耗品
その他の施設	—	競技用備品及び消耗品 運営用備品及び消耗品